



かるがも便り

冬号
102号

1月・4月・7月・10月の年4回発行

石神井まちづくりの会 代表 兼 編集者：下河秀行

デザイン・構成：[デザイン NI-MO]

今号の
記事内容

- 1面：地下鉄大江戸線 光が丘から延伸へ
2面：知られざる練馬の歴史シリーズ㉓ 葛城明彦氏
3面：練馬の美術館シリーズ ちひろ美術館
4面：野鳥と自然の会提供【石神井公園 NOW】

- 5面：SDGsシリーズ その⑯ 練馬区立大泉中学校
6面：ねりまゆかりの漫画家 その⑥ 練馬の漫画家
7面：練馬の活動団体その⑧ NPO法人【楽善俱楽部】
8面：第3回【シニアライフ講座】ほか、編集後記

要望から実現に向けて【地下鉄 都営大江戸線の延伸】 ～練馬区内 光が丘から大泉学園町間に3駅を新設する～

大江戸線の大泉学園へ延伸、早期着工を

東京都は、都心と練馬区を結ぶ都営地下鉄大江戸線(全長40.7キロ、38駅)について、練馬区の光が丘駅から北西に約4キロ延ばし、区内に3駅を新設する延伸案を公表した。総事業費は、1600億円を見込み、都と区の費用負担は今後検討する。延伸は地元自治体が長く要望しており、2040年ごろの開業を想定した検討が進められている。東京都は、ホームページで「検討状況」として公開した。

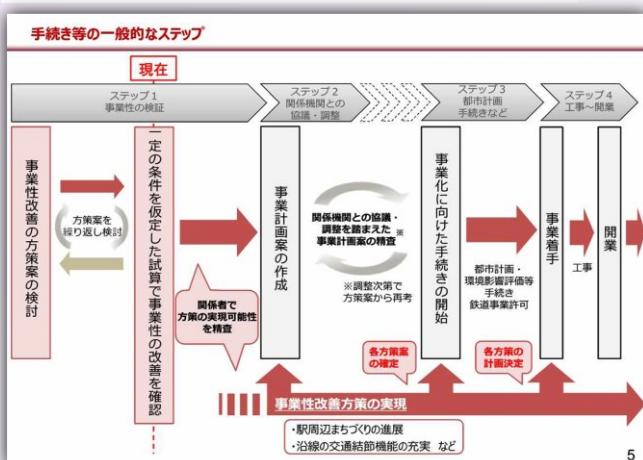
都は土支田、大泉町、大泉学園町の3駅公表

路線概要



今後、検討の進捗により変更の可能性がある。

今後の手続き等の一般的なステップ



5

都は2023年3月に府内検討プロジェクトチームを設置し、旅客需要や収支採算性などを検証。7年3月の都議会では、都側は「収支採算性は依然として課題がある」としていた。

その後の試算で、コスト低減や、駅周辺の街づくりなどを通じた旅客需要の創出などが実現すれば、大江戸線の利用者が1日当たり約6万人増え、開業から40年以内に累積損益収支が黒字転換するとの結果が得られたという。都は採算が取れると判断し、今後関係機関と調整し、事業計画案の作成を進める。

下河秀行（本記事の出典は、東京都ホームページより）

3駅は、いずれも仮称の「土支田（どしだ）」「大泉町」「大泉学園町」を予定している。

区内の都市計画道路の下を通る形で整備予定用地は、既に約9割を確保している。

石神井公園商店街の【新春餅つき大会】

◎とき 2026年1月12日(祝・成人の日)午前10時～お餅がなくなるまで

◎ところ 石神井公園商店街 銀座通り ふれあい広場周辺

◎内容 お餅・豚汁・甘酒・お汁粉の販売や お囃子・獅子舞も行います。
今年も石神井公園商店街へ是非お出かけ下さい。

主催 石神井公園商店街振興組合

【知られざる練馬の歴史シリーズ⑥】

太田道灌と井草・今川布陣伝説

1477(文明9)年4月13日、江戸城主の太田道灌は江古田原で豊島一族との合戦に勝利し、翌日には石神井城攻撃のため愛宕山(現・早稲田高等学院付近)に布陣している。

この時の進軍路は記録に残されていないが、実はそこにはこれまで見過ごされてきた大きな謎が存在しているのである。それは、「13日の夜、道灌はどこで宿陣していたのか」ということである。

江古田から石神井までは約5km、徒歩でも1時間余りの距離に過ぎない。戦いも「練馬城主以下数十人が討ち取られた」のみで豊島方が敗走していることからみれば、ごく短時間で決着したと考えられよう。となれば、その後道灌は何らかの目的があって、他の場所に向かったのだと推測せざるを得ないのである。

ここで浮かび上がってくるのは、「杉並方面への南下」説である。現在の上井草・井草通り付近には「道灌橋」「道灌坂」「道灌」「道灌堀」、また今川4-27~28の妙正寺川源流部を見下ろす丘上には「幕陣」(本陣の意)「道灌山」という地名が残されている(現在「幕陣」の西側は「道灌公園」として整備されている)。

伝説によれば、道灌は石神井城攻めに当たってまずここに布陣したともいわれている(石神井城までは北へ1.5km)。

これも伝説であるが、善福寺池の畔には豊島氏配下の城があり、付近にあった寺院も豊島氏ゆかりのものであったという。豊島氏領地に近く、『武藏野三大湧水池』の一つであったことから考えれば、同所を豊島

方が管理していた可能性は十分といえるであろう。

それらを強く意識していた道灌は、南北から敵に挟まれるという状況を解消するとともに、まずは江戸城脇を流れる平川(現・神田川)の支流である善福寺川・井草川(下流は妙正寺川)水源を完全に掌握することを目指したのではないだろうか。また、さらにはそれによって江戸城との補給・連絡路を確保する、という狙いがあったとも考えられよう。

なお、言い伝えによれば、「道灌軍は幕陣と北の丘2か所に布陣し、その夜闇に乘じて付近に火を放った」「善福寺池畔にあった豊島方の城を焼き払った」という。そのほか、地元の『清水家文書』には、当時善福寺池畔にあった「万福寺」「東福寺」という寺院の僧が「豊島方に味方して上杉方と戦った」とも記されている。一方、『太田道灌状』で記述がみられないのは、あるいはごく短時間で制圧が完了したためであったのかもしれない。



▲石神井城址内郭の空堀と土塁

社伝によれば、道灌は同年4月16日に源氏ゆかりの荻窪八幡神社で戦勝祈願のための軍神祭を行ったとされ、その際植樹したという楓の木が今も「御神木」として祀られている。道灌は井草八幡宮でも戦勝祈願を行っており、その時に奉納したという軍旗(※「馬印」との説明文は誤り)と旗鈴が現在も宝物館内に残る。確かな記録とまではいえないものの、これらも「杉並方面南下」説を補強する一応の傍証にはなるであろう。

文と写真・葛城明彦(郷土史家)



▲今川の太田道灌布陣伝説地
(向かいの丘上付近)

安心・安全をサービスにおもてなし
石神井公園 旧西友通り また行ってみたい商店街へ

石神井町二丁目通り商店会

お買い物は防犯カメラの設置された安全な加盟36店舗で

石神井町
二丁目通り商店会



装いの翼

装うことを喜びとしながら、多感な時期を戦禍のなかで過ごした三人の女性。それぞれの表現で道を切り拓き、自由と美を求めた。

いわさきちひろ、茨木のり子、岡上淑子

2025年10月31日(金)~2026年2月1日(日)

ちひろ美術館・東京 展示室1・2・3・4

いわさきちひろ(1918-1974)、茨木のり子(1926-2006)、岡上淑子(1928-)は、第二次世界大戦後、それぞれ、絵本画家、詩人、美術作家となり、美しいものへ誠実にまなざしを向けました。本展では、2025年9月刊行の行司千絵・著『装いの翼 おしゃれと表現と—いわさきちひろ、茨木のり子、岡上淑子』(岩波書店)を起点として、

「装い」をテーマに3人の女性作家の素顔に迫ります。それぞれの作品とことば、愛用の品や写真などを展示し、三者三様の美意識や生き方と、自由と平和を求める共通の思いを浮き彫りにします。



母・文江の手づくりワンピースを着た8歳のちひろ(右端)と妹たち 1926年



10歳の誕生日を迎えたのり子 1936年



小学生の淑子 母の千鶴子と



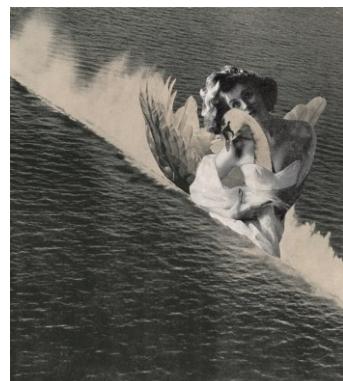
いわさきちひろ
枯れ葉と赤い服の少女 1971年



スカーフ使いも得意としたのり子



岡上淑子 ポスター 1950年
東京国立近代美術館蔵



岡上淑子 海のレダ 1952年 個人蔵
©OKANOUE Toshiko Courtesy of
The Third Gallery Aya



いわさきちひろ
指人形で遊ぶ子どもたち
1966年



ワンピースにクロッシャーを
合わせた装いで 1956年

入館料: 大人1200円/高校生・18歳以下無料/団体(有料入館者10名以上)、65歳以上、学生の方は900円/障害者手帳ご提示の方とその介添えの方(1名)は無料/年間パスポート3000円

○開館時間=10:00~17:00(入館は閉館の30分前まで)

○休館日=月曜日(祝休日の場合は開館、翌平日休館)

年末年始(12月28日~1月2日)

◆主催:ちひろ美術館 ◆お問合せTEL03-3995-0612 練馬区下石神井4-7-2

◆協力:岡上淑子、岡上容子、宮崎治、行司千絵、岩波書店、鈴木恵子、

東京国立近代美術館、東洋英和女学院史料室、The Third Gallery Aya

※上記のイベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性がございます。
最新情報につきましては、公式サイトをご覧いただくか、お電話でお問い合わせください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京

● 診療科目 ●

- 内科
- 糖尿病内科
- リウマチ科
- 胃腸内科
- 循環器内科

菅原 医院

www.sugawara.or.jp

☎ 3996-3016

● 診療時間 ●

- | | | | |
|------|-----------------------------|------|------------------------------|
| ● 平日 | 午前9:00~12:30
午後3:30~7:00 | ● 土曜 | 午前9:00~12:00
休診日:水曜/日曜/祝日 |
|------|-----------------------------|------|------------------------------|



練馬区石神井町3-9-16

冬のみどころ

石神井公園野鳥と自然の会の提供【石神井公園 NOW】

公園の冬は、やがて訪れる春への胎動を感じさせる季節です。野鳥は繁殖の準備を始め、植物も芽を膨らませ来るべき春に備えています。

○野鳥

寒さが一段と厳しさを増すこの頃、数少ない餌を求めてキンクロハジロ、オカヨシガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ等のカモ類や、ウグイス、アオジ、ツグミ、シロハラ、シメといった冬鳥達、さらにそれを狙うオオタカも見られます。

生存競争を生き抜く野鳥達の生態を、葉が落ち視界の開けた公園で、じっくり観察してください。一方で野鳥達にとって冬は恋の季節の始まり。派手な色彩に抜け替わったカモの雄たちが懸命に繰り広げる求愛にも注目です。1年のうちで最も野鳥観察を楽しむことができるベストシーズン、防寒対策をお忘れなくお出かけください。



ヒドリガモ

オカヨシガモ

ヨシガモ

○植物

イロハモミジ、トウカエデの紅葉が青い空を背景に、池に初冬の彩りを映し出します。ヤブコウジ、マンリョウの赤い実、ヤツデなどの白い花、サザンカ、ツバキの赤い花。

新年には梅林に紅梅が咲き、B 地区野球場では1月にはカンザクラが、2月にはオオカンザクラが咲きます。タンポポ、ナズナ等が地表に放射状に葉を広げ春を待ちます。2月にはセントウソウなど早春の花が咲き、早ければホトケノザも顔を出します。



シメ

シロハラ

○昆虫

草むらや葉裏を探してみましょう。集団越冬するムラサキツバメ、ムラサキシジミ。藪の小枝に身を隠すホソミオツネントンボ、オツネントンボ、ホソミイトンボ。公園ではこれらの成虫で越冬するトンボが見られます。枝から離れて飛んだ瞬間が見つけるポイントです。



セントウソウ



ホトケノザ



オオイヌノフグリ



コクサギの冬芽

木柵には、白い蛾(フユシャク)が飛び回り止まっています。メスは翅も口も退化し子孫を残すことができるだけの機能を残した不思議な体となっています。



ホソミイトンボ



ホソミオツネントンボ



シロオビフユシャク(左メス、右オス)



ウスバフユシャクの産卵

毎月第4日曜9時～11時に定例自然観察会を行います

集合は三宝寺池入り口掲示板前です

(定例観察会は当面会員だけで行います。お試し参加歓迎、入会は随時可。)

お問い合わせ先：石神井公園野鳥と自然の会

青木方 TEL:090-2447-7860

生演奏で歌える店 fermata 石神井公園(Live & café Bar)で感動のひとときを…

新年会・歓送迎会・クラス会・ライブイベント・各種イベント・10名～30名

❖平日ランチタイム貸切り、ワンプレート料理・飲み放題・歌い放題！

❖お一人様 5,500円(税込) 12:00～16:00の間の2時間たっぷり

❖土・日曜は、貸切りライブも可能です。「石神井公園駅」西口徒歩2分

練馬区石神井町3-25-21 ライオンズプラザ石神井公園2階(郵便局斜め前)

03-6914-5135 (18時～24時 月曜定休) <https://www.barfermata.com/>





2015年国連採択されたSDGsとは何を目指すのか?を考えてみることにした。目標は、大きく分けて17項目に分かれている。

石神井地域で取り組む【SDGsシリーズ】④について考えてみることにした。

【SDGs】④は、質の高い教育をみんなに…すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。今回は練馬区立大泉中学校を訪問し、校長 大槻 亨氏にインタビューした。

【目標は、大きく分けて17項目に分かれている】

Q. 練馬区立大泉中学校の特徴は?

A. 本校は、今年度で開校七十九年目を迎えた歴史と伝統に培われた大規模校です。現在、全校生徒数は特別支援学級の生徒を含めて755名となり、東京都23区内でも有数の規模を誇ります。この規模のため、校内は活気に溢れていますが、その反面、教員の業務量が大きくなるという課題もあります。

本校の大きな特色は、「文武両道」の精神を根底に置き、生徒一人ひとりが学習、行事、委員会活動、部活動など、様々な場面で個性を活かして活躍している点です。特に、二大行事である5月の運動会と10月の合唱コンクールは充実しており、運動会では集団演技を通じて団結の素晴らしさや達成感を、合唱コンクールではクラス一丸となった取組を通じて仲間意識と絆を深めています。また、知的障害のある特別支援学級を設置しており、通常学級との交流を通じて、お互いの理解を深め、豊かな人間関係を培う機会を設けています。

Q. 大泉中学校の教育理念は?

A. 本校は、社会の加速的な変化と予測困難な時代に対応するため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることを目指しています。これは、文部科学省が提言する「令和の日本型教育」の根幹をなす考え方です。この教育を実現するために、本校では以下の三つの柱を掲げ、生徒像として設定しています。

「自律」:自ら考え主体的に行動する生徒の育成。
・授業の充実と「分かる・魅力ある授業」の展開。
・ICTやAIを活用した個別最適な学びの推進と、基礎

学力の定着を図る学習活動の工夫。

「協働」:自他ともに互いの良さを認め合い、協力して取り組む生徒の育成。

・二大行事や様々な活動・体験を通じて、仲間意識と協働して課題を解決する態度の育成。

「創造」:より良い社会を探求し新しい時代を創造する生徒の育成。

・生徒会や委員会活動、部活動など、生徒の主体的な活動を奨励。

・教職員と生徒、生徒同士の協働と対話を重ねる活動を設定し、AIも活用しながら、持続可能な社会の創り手となる態度の育成。

Q. 大泉中学校のSDGs取り組みは?

A. すべての子供たちの可能性を引き出すため、一人ひとりの個性や能力、関心に応じた「個別最適な学び」を追求しています。その具体的な取組として、デジタルツール、特にAIの活用を積極的に進めています。

生徒の理解度に応じた学習課題の提示や、質問・解説への対応をAIが行うことで、個別最適な学習支援を実現しています。例えば英語科では、AIを活用したオンラインプラットフォームを導入し、生徒の発音を客観的にスコア化することで、主体的な英会話・音読練習を促進。教師の添削業務も軽減されています。

これらの活動は、予測困難な社会の創り手となる生徒の育成と、教員の働き方改革という、持続可能な教育体制の構築を両立させるものです。

サミットが日本のスーパー・マーケットを楽しくする

サミットストア
石神井公園店

練馬区石神井町 2-12-21
☎ 03-5923-7360
営業時間 9:00~23:00

～練馬区 縁(ゆかり)のある漫画家たち～ 紹介シリーズ⑥

練馬区立石神井公園ふるさと文化館では、令和6（2024）年1月から分室にて練馬区ゆかりの漫画家の紹介をしています。漫画「JIN」の作者である村上もとか館長をはじめ、練馬区内にはたくさんの漫画家が住んでいらっしゃいます。3ヶ月ごとに2人の漫画家を紹介し、原画や漫画本などを展示しています。本誌では、ふるさと文化館分室で過去に作品展示を行った漫画家を紹介しています。



原画「機動戦士ガンダム 赤い三巨星」

江尻 立真

平成11（1999）年、『赤マルジャンプ』1999WINTERにて読み切り『CHILDS』でデビュー。以降読み切りを重ね、平成18（2006）年に『週刊少年ジャンプ』で卓球を題材にした『P2! - let's Play Pingpong! -』で初連載を開始。令和5（2023）年から令和7（2025）年まで、月刊ガンダムエースにて『機動戦士ガンダム 赤い三巨星』（シナリオ：関西リョウジ）を連載した。

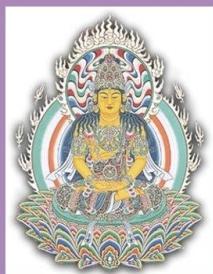


原画「つるピカハゲ丸」

のむら しんぽ

昭和30（1955）年北海道南茅部町（現・函館市）に生まれる。昭和53（1978）年第3回小学館新人コミック大賞佳作デビュー（デビュー作「ケンカばんばん」）。昭和63（1988）年第33回小学館漫画賞児童部門受賞。代表作「とどろけ！一番」「つるピカハゲ丸」「コロコロ創刊伝説」他。現在コロコロオンライン「週刊コロコロ」でコロコロ創刊伝説継続中。

令和8年1月～3月は、阿部ゆたか先生と石川サブロウ先生の作品を展示する予定です。
ぜひご来場ください。 石神井公園ふるさと文化館 練馬区石神井町5-12-16 TEL03-3996-4060



～地域文化の交流点～ 観藏院曼荼羅美術館

開館時間/土・日曜日 10:00～16:00
東京都練馬区南田中4-15-24
TEL3996-6858 FAX3996-6878
<https://kanzouin.wixsite.com/mandala>



～練馬の活動団体紹介～ その⑧ NPO法人【楽膳俱楽部】

食でつなぐ地域の絆

楽膳俱楽部は「食でつなぐ地域の絆」をモットーに27年活動してきました。

最初のスタートは高齢者の会食会です。地域で顔見知りができ、互いに情報交換し助け合える関係ができる事を目的としていました。この事業はその後練馬区の補助金事業である「食のほっとサロン」へ移行しました。練馬区の補助金事業の「相談情報ひろば」では子ども食堂やみんなで晩ご飯、男性料理教室のほかに、みんなで歌いましょう、俳句会、お菓子教室など多彩な催しを行っています。近年は終活に取り組み、自主製作のエンディングノートや毎年1回終活フェスタを開催しています。安心して老後を過ごせるように自分の想いを家族やキーパーソンとなる人に伝えておくことが大事です。来年1月21日には光が丘区民センターで区発行の私の生き方ノートの記入講座を楽膳俱楽部が担当して行います。ぜひご参加ください。

【活動概要】

練馬区補助金事業「相談情報ひろば」、「食のほっとサロン」子ども食堂、男性料理教室、子育て世代対象の「みんなで晩ご飯」練馬区協働ラボ事業「みんなで楽しく終活ボードゲーム」玄米粉のシフォンケーキ販売などを行っています。



▲第5回 ねりま終活フェスター全員写真

【活動実績】

1998年1月 ボランティアグループとして発足。高齢者の会食会を週1回開催

2006年9月 NPO

認証取得

2007年2月 平成

25年度練馬区

協働事業サバ

イバルレシピ

集「食と防災」

刊行



2014年6月 練馬

区補助金事業「相談情報ひろば」受託

2016年8月 子ども食堂を開設

2018年1月 レシピ集「ステップ1.2.3でカンタン自分ごはん」刊行

2019年2月「練馬つながるフェスタ」以降毎年参加

2021年9月「終活フェスタ」開催以降毎年開催

オリジナルエンディングノート作成、エンディングノート記入セミナーを開催

2022年2月「らくぜんマルシェ」開催以降毎年開催

2022年4月 多世代交流および子育てファミリー応援「みんなで晩ご飯」開始

2024年4月 練馬区協働ラボ事業「みんなで楽しく終活ボードゲーム」開催中

2024年11月 練馬区主催 エンディングノート記入セミナー講師受託

NPO法人 楽膳会俱楽部 理事長 清宮百合子
練馬区旭町1-31-4 電話番号03-6915-6300



ご葬儀に関する事なら何でもご相談ください



ヨイセレモニー
0120-41-7062

■本社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040

マキノ祭典

検索

■サロン：東大泉店・大泉学園町店・石神井公園駅前店・大泉学園駅前店・中野駅前店

